

市民国際プラザ・ダイジェスト

第66号（2015年3月4日発行）

1、2月の市民国際プラザ

2014年度第16回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー開催報告 巻き込む力！国際協力の理解者拡大のためにできること

当日は、34名の方に参加いただきました。

基調講演「国際協力の理解者拡大に向けて～国際協力60周年の国民への発信～」を外務省国際協力局政策課企画官 荒木様からお話いただきました。

昨年、外務省から様々な媒体を通じた国際協力に関する啓発のキャンペーンが展開されていました。取り組み内容や、背景にあるODAの現状、日本と海外のつながりについて、お話をいただきました。



荒木氏



事例発表では、「途上国の地域開発に生きる飯田市の地域づくり」ということで、飯田市公民館副館長の木下さまにご登壇いただきました。

飯田市で住民が主体的に関わっている「飯田型公民館」を通して、自治体役割が見えてくるのではないかとのことでした。この活動は、途上国の地域づくりに注目され「輸出」されているとのことでした。



木下氏

もう一つの事例発表は東南アジアを中心に活動をしている認定NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAKの近田様と伊吾田様に「高齢者と途上国の子どもを結ぶ地域活動」についてお話をいただきました。

高齢者施設の入居者がアクリルたわしの作成をし、それを途上国の子どもに届けるプロジェクトについてご紹介いただきました。



あみあみプロジェクトのたわし



近田氏、伊吾田氏

後半はJANIC富野がファシリテーターを務め、事例発表者3名とパネルディスカッションの時間を設けました。

共通の課題解決に向かって、違うからこそできることを探し考えていくこと、そのために自分のことも相手のことも知ることが、はじめての第一歩になる、というまとめとなりました。



富野氏



プラザ齋藤は司会をがんばりました！



パネルディスカッションの様子

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp

イチオシ
情報!



第3回 国連防災世界会議 in 仙台 (3月14日～18日)

国連防災 世界会議 とは??

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議であり、第1回(1994年、於：横浜)、第2回(2005年、於：神戸)の会議とも、日本で開催されています。

第2回会議では、2005年から2015年までの国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組」が策定されるなど、大きな成果をあげています。

第3回国連防災世界会議では、兵庫行動枠組の後継枠組の策定が行われる予定です。

東日本大震災の被災地である仙台市で本件会議を開催することは、被災地の復興を世界に発信するとともに、防災に関する我が国の経験と知見を国際社会と共有し、国際貢献を行う重要な機会となります。(出典：外務省ホームページ)

パブリック・フォーラムは、政府機関、地方自治体、NPO、NGO、大学、地域団体など、国内外の多様な主体による防災や減災、復興に関する取り組みを一般公開により広く発信するものです。

会議期間中、さまざまなシンポジウムやセミナー、展示等が行われます。プラザやJANICと関連がある団体もたくさん参加されます!

3月は東北が熱い!



訪問しました!



社会福祉法人さぼうと21を訪問しました。日本で生活するインドシナ難民、条約難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

35年間の活動の記録として、この度『36年目からの挑戦～外国出身者への支援 さぼうと21の記録～』と題した冊子を、2014年12月に出版致されました。プラザも1冊いただきましたので閲覧ができます。どうぞご覧ください!

研修に参加しました!

毎年恒例のJIAMの研修にプラザスタッフ(足立)が参加しました。たくさんのお出合いと学びがあり、とても有意義な時間を過ごすことができました!



ホームページもご覧ください!



市民国際プラザ

検索



市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、市民国際プラザのFacebookに「いいね!」をお願いします♪

現在の市民国際プラザ「いいね!」数 **300!** (目標達成!引き続きよろしくをお願いします。)